

せん定作業の勇建設に感謝状



田中町長から感謝状を受け取る有澤専務

妹背牛小学校グラウンドのせん定作業を行った勇建設(札幌)に対し、町は9月27日、感謝状を贈呈しました。

同社は、増毛稲田線妹背牛橋架け換えの道路工を施工。地域貢献活動として9月17日にせん定作業を行い、教育環境の整備に貢献しました。

田中一典町長が活動に対して謝意を示し、感謝状を贈呈。受け取った有澤専務は「仕事を安全に進め、町民の皆様に喜ばれる現場づくりを目指します」と話しました。

まちかどアドバイザーがサロン



脳トレ問題を解くサロンの参加者(左)

地域住民の身近な相談に乗る「まちかどアドバイザー」は9月22日、初めてのサロンをわかち愛もせうしひろばで開催しました。

アドバイザーの活動は、町民の皆さんから相談を受けた際に社協を通じて得た行政機関の情報を相談者に提供する仕組み。和やかな雰囲気の中で始まったサロンには、アドバイザー4人と70〜80代の参加者8人が何気ない世間話から打ち解け、イラストの間違え探しを楽しむ脳トレ問題に挑戦しました。

お米たんけん隊の稲刈りツアー



刈り取った稲をはさぎける子ども

コープさっぽろの「お米たんけん隊・稲刈りツアー」が9月17日、町内のふれあい農園で開かれ、札幌の家族連れが稲刈りから精米まで一連の農作業を体験しました。

都市部と農村地域の交流を深める企画で、今年5月には田植え体験も開催。収穫の秋を迎えた今回は、黄金色に実った稲穂を鎌で刈り取りました。

参加者たちは、昔ながらのはさがけにも挑戦。稲の脱穀やのみすりを体験した後、昼食のおにぎりに舌鼓を打ちました。

感性が光る学校作品展



幅広い種類の力作が並んだ作品展

妹背牛町内に住む子どもたちの美術作品を集めた「学校作品展」が9月15日〜21日まで、町民会館で開かれ、訪れる人たちの目を惹きつけました。

認定こども園妹背牛保育所の園児は、フクロウを題材にした絵を出品。妹背牛小学校の児童は、手作りの自動販売機やラジオの電波の実験結果など、夏休みの自由研究を展示しました。

妹背牛中学校の1年生は「気になる情景」をテーマに校舎近くの「一本松」を水彩画で描き、会場を彩りました。

認知症への理解 ポスターで



暖色系の折り紙で彩られたポスター

世界アルツハイマーデーの9月21日、認知症への理解を呼びかけるポスターを制作するイベントが「わかち愛もせうしひろば」で開かれました。

ポスターには、2022世界アルツハイマーデー標語「忘れてもあなたはあなたのままでもいい」の文字も。参加者たちは指先の体操で折り紙を楽しみながら、紅葉や栗の形に折った色紙を貼り合わせました。

秋らしい雰囲気のパスター3枚は、町内の公共施設に掲示されました。

鶴見製作所が水中ポンプ寄贈



排水作業に活用される水中ポンプ

町内9区の「北大鳳排水機場」の整備・点検を担う「鶴見製作所」(本店・大阪)は9月28日、大雨時の排水作業に活用するポンプを町に寄贈しました。

同排水機場の修繕工事を完了させたことから、社会貢献活動の一環として水中ポンプ2基と、全長20メートルのホース4本を寄贈。出力は11kWで、くみ上げる水の高さが10メートルの場合、毎分4メートルの排水能力があります。

この日は、同社の社員が車両センター前で講習会を開き、町職員に操作方法を教えました。

収穫した野菜でカレーづくり



協力隊と一緒に調理を楽しむ小学生(右)

基幹産業の農業を体験している「郷土クラブ」の子どもたちが10月1日、保健センターに集まり、自分たちで収穫した野菜を使ったカレーライスを作りました。

体験活動を通じて、食べ物の大切さを学んでいる子どもたちは、収穫したばかりのジャガイモやニンジンの下処理、食材を鍋で煮込む作業に挑戦。この日は、ベトナム人地域おこし協力隊も調理を手伝い、全員で出来上がったカレーライスをおいしそうに味わいました。

稲刈り体験で交流の輪



稲刈り体験で笑顔を見せる参加者たち

知的にハンディを抱える人たちの仲間づくりの場「ひろげようみんなのわいん深川」が10月1日に深川市を主会場に開かれました。妹背牛町を訪れた参加者たちは農業体験で交流を深めました。

全道各地から約130人が参加し、4つの分科会に分かれて活動。町内の水本雅英さん方のほ場では、稲刈りやトラクター乗車の体験を楽しみました。

新米ゆめぴりかのおにぎりを試食した後、農業施設を見学しました。